

頑張る

農業法人

福知山市三和町高杉地区で、2011年7月に設立された農業生産法人(株)ダイアスポラ。役員、従業員5人が全て移住者で、ほとんどが非農家出身。しかし地域に溶け込み、農地を借りて多品目の野菜類を栽培している。

生まれ。東京都内の大学を卒業して大阪市内でビール製造会社に就職。長岡京市のワイン製造会社で働いていた際に「ワインの原料となるブドウを作りたい」と、ブドウの産地である三和町に目を向けた。

「高齢化が進む地区の農業・農地を守っていきたい」と代表取締役の鎌田佳秋さん(42)は思いを語る。若手で組織した法人。将来の地域の担い手として期待される。

□ □

高杉地区は、同町南東部の菟原地域にある。約30世帯100人ほどの集落。山が並び流れるきれいな川沿いに水田や畑が広がる。特産・三和ブドウの産地の1つ。

鎌田さんは神奈川県生

農地を借用し、資金を集めて11年7月、元同僚の佐竹大輔さん(38)と法人を立ち上げた。12年4月に同地区の空き家を借りて移住した。当面はブドウではなく、普段食べる野菜類を作ることにし、富山県の農家出身で京都市内の農園で研修していた安田敏晴さん(37)を取締役に迎えた。社名はギリシャ語で「種子のばらまき」の意味。広く地域に合った農業を進める思いで名付けた。

福知山市 三和町

(株)ダイアスポラ

鎌田代表(左)と共に頑張る法人の若いメンバー



若手移住者 力合わせ

休耕地借り 多品目野菜作り

る。また、ハウス2棟で野菜育苗したり壬生菜を栽培したりしている。JA京都にのくにを通して市場や直売所に出荷する他、業者にも直売する。

鎌田さんは「農業は初めてで、地元農家も温かく教えてくれる。行事にも積極的に参加する」と地元になじんでいる。経営は「今は厳しいが将来は面積を増やし、万願寺甘とうを中心に、生食用のブドウ、菌床シイタケにも挑みたい」と意気込む。

□ □

鎌田さんは「地域は高齢化が進むが、若いメンバーで農業・農地を守っていききたい。農商工連携や6次産業化の経営も検討したい」と、地域の活性化を第一に考え、他府県、海外にも展開する事業を目指す。

▽法人所在地 福知山市三和町高杉331。連絡先は鎌田代表、電話 090(6050)0619。

役員は2人で、佐竹さんと女性2人が従業員、鎌田さんの妻満子さん(38)がパートタイマー

として従事している。い

耕田など2・5畝を借り受け、万願寺甘とうやナス、みず菜、九条ねぎなど約30品目を栽培してい

現在、町内10カ所で休

現在、町内10カ所で休日